

研究公開文書

2022 年 8 月 18 日

研 究 名	シングルメッシュ法による腹腔鏡下仙骨脛固定術の検討
研 究 の 概 要	ダブルメッシュ法による腹腔鏡下仙骨脛固定術は骨盤臓器脱に対して近年広く行われているが、人工素材であるメッシュは感染やメッシュ露出などの合併症リスクがあり、その使用に対する社会的な懸念は膨らんでいる。当院ではメッシュに伴う合併症回避のため、前または後脛壁のどちらかのみメッシュを留置するシングルメッシュ法の腹腔鏡下仙骨脛固定術を中心に行っている。シングルメッシュ法の腹腔鏡下仙骨脛固定術に関する文献は少ないことから、今回当院で施行したシングルメッシュ法の腹腔鏡下仙骨脛固定術の治療成績について検討する。
研 究 対 象	当院で2017年10月から2021年5月まで当院で腹腔鏡下仙骨脛固定術を施行した症例を診療録を用いて後方視的に検討した。 前方メッシュはAa点まで、後方メッシュは症例に応じて肛門挙筋または後脛壁中央までとし、さらに症例に応じて膀胱瘤、直腸瘤に対して脛壁形成を加えて行った。ダブルメッシュの症例は除外した。
研 究 責 任 者	櫻井静、平田豪
研 究 実 施 期 間	研究許可日～2024年3月31日

連 絡 先

小田原市久野 4 6 番地 小田原市立病院 0465-34-3175